

ヨハネの黙示録 第2章 10節

「あなたが受けようとしている苦しみを恐れてはいけない。見よ。悪魔はあなたがたをためすために、あなたがたのうちのある人たちを牢に投げ入れようとしている。あなたがた十日の間苦しみを受ける。死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう。」

苦しみの迫りを目の前にして聞くことばである。あなたという。他の誰でもない、ここで聞いている者への語りである。迫る苦しみに恐れてはならない。それは恐ろしい痛みだからこそののである。痛みは悪魔がある者を牢に投げ込もうとすることだ。その痛みが十日間続く。痛みの内容を先んじてあらわすことにより、恐るべきことは何か明らかにする。恐れるべきは、悪魔ではない。また、十日間の痛みでもない。

畏れるべき方はいふ。「死に至るまで忠実でありなさい。」痛みを避けなさい、痛みを除きなさいではなく、痛みを打ち勝ちなさいでもなく、痛みを受けなさいでもない。ただ忠実であれ、といわれる。それはあなたに与え、委ねたいのちに忠実に歩みなさいということである。あなたのいのちにふさわしい生き方を終わりまでしなさいである。そうすれば、忠実であれとあなたに語られるお方が、いのちの冠を与えてくださる。あなたのいのちに忠実であれ。

2023年5月27日